

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」多治見校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令を遵守したスペースを確保しています。	利用者の発達段階に応じて使用するスペースを決めています。また、プライバシーが守られるよう配慮しています。
	②	職員の配置数は適切である	○		法令で必要とされる配置数以上の職員配置になっています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		トイレに手すりをつけたり、角のない机にしたりコーナーガードをつけたり等安全対策をしています。	療育スペースでは集中して課題に取り組めるように配慮をしています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		集中して課題に取り組めるように机の配置など工夫しています。	毎日の掃除を含め、手の触れるところは頻繁に消毒をするなど衛生面での配慮しています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		毎日ミーティングを実施し、PDCAサイクルを意識しながら業務改善に取り組んでいます。	毎日職員の打ち合わせを行い、支援のねらいを確認しています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎回、療育内容を保護者に説明し、改善を図る努力をしています。	療育に対する要望を毎回お聞きし、業務改善につなげています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		自己評価はホームページで公開しています。また、療育室の入り口に掲示し、いつでも読むことができるようにしています。	SNSやブログなど複数の媒体を用いて情報発信に心がけています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在実施しておりません。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		「きらり」の愛知県事業所で開かれる事例検討会に参加。また、研修などの伝達研修は随時行い、日々、スキル向上に取り組んでいます。	社内で行う研修のみでなく、さまざまな機会をとらえて研鑽をつむようになっています。

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントに基づいて、支援計画を作成しています。	毎回、保護者の方とお話し、保護者のニーズをつかむとともに、何が課題かをお伝えしています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		NCプログラムを主に利用しています。	前回との比較を行っています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		アセスメントを基に、具体的な支援内容を設定しています。また、アセスメントもお子様に合わせてものを使用しています。	常に、具体的な支援方法については、保護者の方にお伝えしています。計画の変更も達成度に応じて適時変更するなどしています。家族支援は来所時に対応するだけでなく、メール、電話にても個別で対応しています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		計画に沿って支援を行っています。	支援のたびに計画の「ねらい」にそったものであるかを保護者の方にも確認してもらっています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		ミーティングで支援内容を公開し、それについての職員間の意見交流を行っています。	利用者に合わせた教材教具の工夫をし、改善にむけての努力をしています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		その時の子どもの状況や反応を見て、プログラム変更が可能なようにいくつかのプランを用意して支援を行っています。	固定化しないよう、担当者まかせにせず、常にチームでプログラムを立案できるように工夫していきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		集団活動は行っていません。	保護者の希望により集団でも対応できるようにします。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			個別支援のプログラムは、職員間で常に情報交流を図っています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		ミーティングで支援の成果と課題についてお互いに報告をしています。	次の日に行っています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録はもちろん、後から検証できるように使用したプリント等も保管して、支援に役立てています。	記録をとるとともに、保護者にメールなどで支援の様子を報告しています。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを行うのはもちろん、必要に応じて計画の見直しを行います。	最低6か月に一度、計画の見直しを行っています。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			支援に携わる職員が会議に参画できるように調整をしていきます。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			必要に応じて、保護者の承諾のもと実施しています。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	該当者はありません。	てんかんなど持病を持っているお子さんには、対処方法などを共有しています。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	該当者はありません。	
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		保護者の要望があれば、情報共有と相互理解を図れるようにしていきます。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		保護者の要望があれば、情報共有と相互理解を図れるようにしていきます。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		保護者の要望に応じて実施しました。	
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		保護者の要望に応じて実施しました。	
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	要請された公的な集まりに関しては可能な限り参加させていただいております。	
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		支援終了時に、保護者へのフィードバックの時間を設けています。	
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		ペアレントトレーニングができるよう職員の研鑽をつみたいと考えています。
保護者への説明責任等	㉛	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に丁寧に説明するとともに、事業所内にも重要事項説明書を掲示してあります。	
	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		契約時に(案)を提示し、支援内容の説明を行い、保護者から署名をいただくとともにコピーをして保護者にお渡しをしています。	

	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		主に、支援後のフィードバックの時間に相談に応じております。	
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		本事業所は個別支援ですので、保護者同士の連携は特に必要ないと考えています。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		できるだけ誠実な対応を心がけています。	
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	次月の予定は前月の中旬にはお出しし、保護者に確認いただいております。	LINE、インスタ、ブログなど適宜更新しています。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報には十分配慮しております。	
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚的な情報などを利用して意思疎通が円滑にできるように工夫しています。	
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		地域に対して協力をお願いする機会は少ないのですが、イベント等には積極的に参加していきたいと考えております。
非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルを作成し、研修、訓練などを定期的に行っています。	保護者への周知を今後徹底していきたいと考えています。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に研修、訓練を実施しています。	保護者への周知を今後徹底していきたいと考えています。
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		必要な対応をさせていただいています。	アセスメントの際に把握するように努めています。
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	食事等の提供はありませんが、必要に応じて対応させていただきます。	アセスメントの際に把握するように努めています。
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			週に一度、職員が振り返る時間を設けています。
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		月に一度、「セルフチェック」を行っています、また必要に応じて研修を実施しています。	伝達研修は必ず行っています。
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		重要事項説明書に記載し、事業所内にも掲示しています。想定される利用者さんには事前に説明をし、計画にもなせています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表:2022年 2月 5日

事業所名: こどもサポート教室「きらり」多治見校

保護者等数(児童数):4 回収数:4 割合:100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4	0	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	4	0	0	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	1	0	0		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	0	0	0		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	4	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	0	0	0		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3	1	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	3	1	0	0	学習内容が色々工夫されているので、子どもが飽きることなく、興味を持つことができる。	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	3	1	1		(複数回答あり)
保護者への説明	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2	1	0	1		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	4	0	0	0		契約時に「支援計画」を示し、ご説明しています。フィードバックの時間にも支援内容について説明をしています。

明 等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3	1	0	0		ご要望に応じて、適宜行っております。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4	0	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3	1	0	0	毎回メールで子供の学習状況を詳しく教えてくださり、感謝しています。	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	1	2	1		個別支援ですので、父母会は作っていません
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3	1	0	0		事業所内相談支援、家庭連携などの相談活動を行っています。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3	0	1	0		SNSを活用して情報をお伝えしています。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4	0	0	0		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	4	0	0	0		
非 常 時 等 の 対 応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	3	1	0	0		定期的に訓練を行っていますが、一層の周知をはかるように努めます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	1	0	1		月に1度、職員の訓練を行っています。
満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	4	0	0	0		楽しみに通所してもらえるように今後も一層努力をいたします。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	3	1	0	0	住んでいる地域の近場であればなあと。	より専門性の高い、質の良い療育を目指して、職員の研修を進めてまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。